



-家づくりを学べる体感型ショールーム-

「ハイムギャラリーパーク港北」オープン

- 『スタディギャラリー』『インテリアギャラリー』からなる複合型の体感型ショールーム
- “学び”と“楽しさ”の追求。デジタル×アナログによる体感型設備の充実

2020年11月16日
東京セキスイハイム株式会社

東京セキスイハイム株式会社（本社：東京都台東区 代表取締役社長：吉田匡秀、以下「当社」）は、2020年11月23日（月）に、体感型ショールーム『ハイムギャラリーパーク港北』をオープンします。セキスイハイムグループでは、この体感型ショールームを全国で推進しており、今回、神奈川県で初めてとなる「住宅展示場タイプ」の体感型ショールームを開設いたします。

セキスイハイムの3階建て住宅「デシオ」をベースとした「スタディギャラリー」と「インテリアギャラリー」からなる複合型施設です。住宅建築を検討されているお客様に、まず家づくりに関する一般的な知識をご理解いただき、そのなかでセキスイハイムの位置づけや特長をご納得いただきながら説明を進めることで、お客様満足度の向上を目指します。

『ハイムギャラリーパーク港北』の概要

■「スタディギャラリー」「インテリアギャラリー」からなる複合型の体感型ショールーム

「スタディギャラリー」は、[家づくりスタディ][ハイムスタディ][未来の家スタディ]の3つのギャラリーから構成される、映像システムや体感模型を複数導入した体感型のエリア。「インテリアギャラリー」は、最新トレンドの間取りや住宅設備の提案だけでなく、独自の空調システムを体感していただけるエリアです。

■“学び”と“楽しさ”の追求。デジタル×アナログによる体感型設備の充実

①非日常をリアルに感じる映像技術で、災害時や未来の暮らしを学ぶ

家づくりにおいて重要なことを記憶に残るかたちとしてご理解いただくために、4DシアターやVRなど、五感を刺激する映像体験を複数導入しました。

②巨大地震に対する備えや日本の家づくりを学ぶ

当社販売エリアにおいて関心の高い巨大地震への対策や日本の家づくりについて、実際の構造部材やジオラマ模型、アニメーション映像などを用いて解説します。

③未来の暮らしからいま選ぶべきスマートハウスを学ぶ

スマートハウスの知識や現状、そして将来の発展性について、お客様参加型のコンテンツにより、暮らしとエネルギーのあるべき姿や住まいのレジリエンス機能についてご案内します。

■施設概要

- ◎名 称：ハイムギャラリーパーク港北
- ◎オープン日：2020年11月23日（月）
- ◎所 地：神奈川県横浜市都筑区川向町989 港北インター住宅公園内
- ◎開館時間：10:00～18:00
- ◎定休日：毎週火曜日・水曜日（他、港北インター住宅公園の定休日に準じます。）

『ハイムギャラリーパーク港北』の狙い

失敗しない家づくりのためには、適切な情報収集と理解が必要となります。とりわけ情報過多の現代においては膨大な資料やデータの中からお客様だけで正しい情報を選ぶことは困難です。そのため、セキスイハイムグループでは、家づくりを「楽しく、わかりやすく」ご理解いただくための体感型ショールームの展開を加速させております。

セキスイハイムグループにおいて、神奈川県では初となる「展示場タイプ」の体感型ショールーム『ハイムギャラリーパーク港北』では、家づくりに必要な一般情報を客観的な視点から整理しわかりやすい形で伝え、お客様の家づくりにおける判断基準形成をサポートします。セキスイハイムの建築手法である工場生産による品質、ユニット工法による性能の高さについてご納得いただく新しい営業スタイルに取り組み、お客様満足度を高めることを目的としています。

『ハイムギャラリーパーク港北』の構成

学びの場となる3つの「スタディギャラリー」と最新の住まいを確認できる「インテリアギャラリー」から空間構成されます。

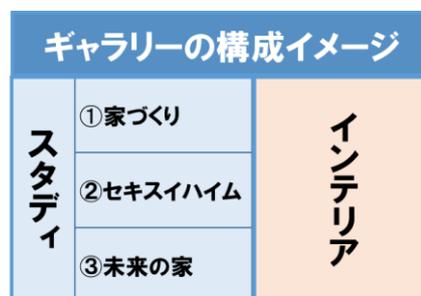
1. 「スタディギャラリー」

▼ハイムギャラリーパーク港北の全体構成

家づくりスタディギャラリー(1階)

首都直下地震のシミュレーション動画などで構成された映像と大音響に加え、4D技術^{※1}(「振動」「フラッシュ演出」「風の体感」)により臨場感をもって体験いただきながら、減災住宅の重要性・必要性を解説します。

また、昨今、被害規模が拡大している巨大台風についても、お客様に向けて情報発信を行います。



ハイムスタディギャラリー(2階)

セキスイハイムの特徴である工場生産やボックスラーメン構造について紹介し、当社がなぜこれらの建築工法や住宅構造を採用したかの理由を解説します。また長期にわたってお住まいいただくために必要な住まいの保証制度についても、一般的な実例を交えながら失敗しないための選び方をクイズ形式でわかりやすく解説します。

未来の家スタディギャラリー(3階)

スマートハウス No.1 を目指すメーカーとして、見ただけではわからない、エネルギーコントロールやIoT技術について、体感していただきながらその利便性や経済メリット、その環境効果についても解説します。また、新型コロナウイルスの感染拡大により再度認識されている換気の重要性をクイズ形式で解説したり、通年型空気調整システム「快適エアリー」をご紹介したり、住環境における空気質の重要性を認識いただけるコーナーをご用意いたしました。

さらに、被災生活にて証明されつつある蓄電池をはじめとしたスマートハイム機能の減災への有効性についても、わかりやすく解説しています。万が一の時だけではなく日常でも感じる健康や財産に対する不安から暮らしを守ることで生活の質を高めることを目指したレジリエンス機能を備えた住まいについても解説します。

2. 「インテリアギャラリー」

最新トレンドの間取りや住宅設備を提案しています。40代のご夫婦+お子様2人を想定した、上質な空間を設計。光を壁面に反射させる間接照明で空間の奥行感や広がりを感じさせ、ラグジュアリーな雰囲気 연출します。ホテルライクなベッドルームや在宅ワークをしても室内窓で緩やかに仕切られている、お互いのペースを保てる空間を提案いたします。

『ハイムギャラリーパーク港北』の特長－最先端の体験型映像技術の充実

1. 非日常をリアルに感じる映像技術で、災害時や未来の暮らしを学ぶ

『ハイムギャラリーパーク港北』で導入した、主な映像技術や体感型設備は以下の5つです。

①巨大地震体感4Dシアター

首都直下地震のシミュレーション動画などで構成された映像と大音響に加え、今回新しく採用した4D技術※1（「振動」「フラッシュ演出」「風の体感」）により臨場感をもって体感していただくことで、減災住宅の重要性・必要性をご理解いただけます。



▲巨大地震体感4Dシアター
※イメージ

②ハイムユニットVR

ヘッドマウント型の360°VR体感装置を導入し、建物の仕組みや構造、建築工程を体験できます。映像内では、「バーチャルファクトリー」が眼前に広がり、アトラクション感覚で家づくりをご体感いただけます。



▲ハイムユニットVR
※イメージ

③可動型工場ジオラマ×QRコード活用映像配信

セキスイハイムの工場生産の全貌を再現したジオラマと共に、家づくりの各工程を解説します。タブレット端末のカメラ機能を用いたQRコード※2の読み込みにより、ジオラマと連動した実際の工場内建築シーンの映像をご覧いただけます。

④インタラクティブコンテンツ「これからの暮らしとエネルギー」

社会・暮らし・住まいとエネルギーの関係を、タッチセンサー技術を活用したプロジェクションマッピングによる図解コンテンツで解説します。



▲インタラクティブコンテンツ
これからの暮らしとエネルギー
※イメージ

⑤対話型コンテンツ「未来型スマートハイム」

スマートハウスの利便性や経済メリットを音声操作やスマートフォンの遠隔操作などを活用して、キャラクターと対話しながら生活を体感していただけます。

2. 巨大地震に対する考え方、日本の家づくりを学ぶ

「家づくりスタディギャラリー（1階）」では、4DシアターやVRを活用するほか、住まいの工法模型や実際の部材などを用い、一般的な日本の住宅建築の構造・工法から解説。日本の家づくりにおける大地震への備え方をご理解いただけます。特に住宅選定における「住宅の作り方・基礎の選び方・強い構造の見極め方」については、災害に強い住宅をつくる上での重要な情報と捉え、お客様の家づくりにおける判断基準形成をサポートいたします。



▲家づくりスタディギャラリー（1階）
※イメージ

「ハイムスタディギャラリー（2階）」では、一般的な鉄骨（ブレース・ラーメン）構造住宅の特長について、実物の鉄骨スケルトン展示やアニメーション映像を使ってわかりやすく説明します。



▲ハイムスタディギャラリー（2階）
※イメージ

3. 未来の暮らしと今選ぶべきスマートハウスを学ぶ

未来の暮らしとスマートハウスの知識や今後の発展性について3つのパートにおいて解説します。

①暮らしの進化年表

1964年東京オリンピックから東京2020オリンピック（2021年開催予定）までの技術の進化と暮らしの変化を通して、暮らしとエネルギーの深い結びつきをご理解いただきます。

②インタラクティブコンテンツ「これからの暮らしとエネルギー」

社会・暮らし・住まいとエネルギーの関係や現状と未来について、プロジェクションマッピング映像にて紹介します。電力価格の上昇リスク、自然災害と停電の関連性他、ZEH^{※3}の必要性、EV（電気自動車）の活用、スマートハイムの日から、お客様自身が興味関心のある部分に触れると、タッチセンサーが認識し解説します。

③対話型コンテンツ「未来型スマートハイム」

セキスイハイムのスマートハウス「スマートハイム」で実現可能なHEMS^{※4}機能、IoTによる暮らしの利便性、将来の拡張性について、一日の暮らしを再現するプレゼンテーションでお伝えします。スマートフォンと連携するIoT化された宅配BOX^{※5}の活用をはじめ、最新の住設備についても体感していただけます。



▲未来型スマートハイム体感
※イメージ

※1：デジタルコンテンツの中でデジタル以外のリアルな要素を取り入れた手法のこと

※2：Quick Response の頭字語であり、高速読み取りを目的の1つとしている名称。

「QRコード」はデンソーウェーブの登録商標です。

※3：ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス

※4：コンサルティング型ホームエネルギーマネジメントシステム「スマートハイムナビ」

※5：対象の機種には制限があります。

『ハイムギャラリーパーク港北』ショールーム外観とロゴ

地上3階建て 延床面積 413.23 m²（1階 136.33 m²、2階 141.64 m²、3階 135.26 m²）



ハイムギャラリーパーク

HeimGalleryPark

| KOUHOKU |

＜東京セキスイハイムグループのお客様向け情報発信拠点について＞

| 分類 | 名称 | 所在地 | 対象のお客様 | 開設時期 |
|-----------|-----------------|----------------|--------|----------|
| 体感型ショールーム | セキスイハイムミュージアム蓮田 | 蓮田市黒浜 | 検討初期段階 | 2019年5月 |
| | セキスイハイムミュージアム千葉 | 千葉市美浜区 | 検討初期段階 | 2020年1月 |
| | セキスイハイムミュージアム山梨 | 山梨県中巨摩郡 | 検討初期段階 | 2020年2月 |
| | ハイムギャラリーパーク大宮 | さいたま市北区 | 検討初期段階 | 2020年8月 |
| | ハイムギャラリーパーク港北 | 神奈川県横浜市 都筑区 | 検討初期段階 | 2020年11月 |

【東京セキスイハイム株式会社 会社概要】

- ◎設立 : 1974年4月1日
- ◎資本金 : 4億円 (積水化学工業株式会社 100%出資)
- ◎代表者 : 代表取締役社長 吉田匡秀 (よしだまさひで)
- ◎売上高 : 648億円 (2020年3月決算)
- ◎従業員数 : 1,108名 (2020年4月現在)
- ◎事業内容 : ユニット住宅「セキスイハイム」、「ツーユーホーム」の販売と設計、施工管理
その他集合住宅・在来工法等建築工事全般 宅地分譲等不動産取引
- ◎展示場 : 東京エリア 11拠点 神奈川エリア 18拠点 山梨エリア 5拠点
千葉エリア 17拠点 埼玉エリア 20拠点 (2020年10月現在)
- ◎グループ会社 : 東京セキスイファミエス株式会社、東京セキスイハイム施工株式会社
- ◎本社所在地 : 〒110-0015 東京都台東区東上野 4-27-3 上野トーセイビル 9階

＜この件に関するお問い合わせは下記までお願いします＞

東京セキスイハイム株式会社

〒110-0015 東京都台東区東上野 4-27-3 上野トーセイビル 9階

- 本社 企画部 営業企画課 柳川 TEL : 03-6865-7772
- 第一営業本部 営業企画部 営業企画課 山田 TEL : 0120-854-816
- お問い合わせ時間 10 : 00～18 : 00 ■定休日 毎週 火曜日・水曜日